

# 国語 第1学年 おもいうかべながら よもう 検討会の想定問答

**指摘 1:** ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

**返し:** 中心はC(1)エ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること」。単元名の「おもいうかべながら」は、これを子どもの言葉にしたもの。合わせて〔知識及び技能〕(1)ウのかぎの使い方と、(1)クの音読を評価する。

**指摘 2:** 評価規準は何か。どこで見るのか。

**返し:** 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第3時のノート、②は第7時の音読と第8時の音読発表、思考・判断・表現①は第2時のノートと発言、②は本時と第6時の吹き出しと行動観察、態度①は第1時の様子と第8時の振り返りで見る。

**指摘 3:** 言語活動は何か。

**返し:** C(2)イ「読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動」。場面の様子を思い浮かべて動作をつけて音読し、単元の終わりに好きな場面の音読発表をして、聞いた感想を伝え合う。

**指摘 4:** 動作化をすると遊びになってしまわないか。

**返し:** 動く前と動いた後に「どの言葉から、その動きにしたのか」を必ず言わせる。動作は叙述を確かめるための手立てで、評価するのは動きのうまさではなく、場面の様子に着目して行動を想像しているか(C(1)エ)。立つ場所と動いてよい広さも先に決めておく。

**指摘 5:** かぎの学習を、読むことの単元の中にするのはなぜか。

**返し:** 第3の1(3)に、〔知識及び技能〕の事項は〔思考力、判断力、表現力等〕の事項の指導を通して指導することが基本で、必要に応じて特定の事項だけを取り上げて指導するとある。この物語は会話が多いので、第3時でかぎの使い方を取り上げ、その後の時間では会話の文を音読する時に毎回だれの言葉かを確認する。光村図書の年間指導計画例も、この単元に知識及び技能の1時間を当てている。

**指摘 6:** 個に応じた指導はどうするのか。

**返し:** 音読が苦手な子には、まとまりごとに斜線を入れた本文を渡し、先生と一緒に読む役やかけ声の所だけを読む役を選ばせる。書くのが苦手な子は、吹き出しの言葉を話して伝えてもよい。早く終わる子には、くじらぐもの言葉をどんな声で言うかを考えさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

**指摘 7:** ICTは使わないのか。

**返し:** グループの音読を端末で録画し、自分たちで見返して読み方を直すことに使う。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ、ほかのグループに見てもらい、よかった所を言ってもらえば同じ活動ができる。

**指摘 8:** 教科書の手引きどおりでいいのか。独自性はあるのか。

**返し:** 手引きは指導要領の指導事項に沿って作られているので、外す理由はない。この指導案の工夫は、動作化の前後に必ず根拠の言葉を言わせることと、本時でとんだ時ごとの行動を比べて気持ちの違いを考えさせること。教材は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

**指摘 9:** 8時間で足りるのか。

**返し:** 8時間は光村図書の年間指導計画例の配当(知識及び技能1・読むこと7)に合わせた。足りない時は、第6時と第7時を一時間にまとめ、空を進んで学校に帰るまでを続けて読む。物語の本を読む時間は、第3の1(6)に沿って学校図書館の時間と重ねれば、単元の時数を増やさずにできる。

**指摘 10：**発問が多すぎないか。

**返し：**本時の中心発問は「はじめに とんだ ときと、あとで とんだ ときでは、どう ちがうか」の一つ。行動を確かめる問いと、気持ちを考える問いは、中心発問に答えるための前後の問いで、全体には中心発問だけを板書する。(1)クの音読は、第3の1(3)にあるとおり、読むことの指導の中で扱うので、別の発問は立てない。

**指摘 11：**板書はどう使うのか。1年生に振り返りが書けるのか。

**返し：**とび上がる場面の行動をとんだ順に矢印でつなぎ、その下に吹き出しを書く。行動の変化と気持ちの変化が上下で対応するので、1年生にも違いが見える。振り返りは「…の ところを、…の ように よみました」の型を一つだけ示し、書けない子は口で言わせる。

**指摘 12：**学習指導要領のどこに書いてあるのか。

**返し：**第2〔第1学年及び第2学年〕2内容C読むこと(1)イ・エ・カと(2)イ、〔知識及び技能〕(1)ウ・ク・(3)エ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

